

3) 公認上級パラスポーツ指導員養成講習会（45.5時間）

領域	講習科目	内容	時間	
人間力	思考判断	プレゼンテーション能力 他者の意見を「聴く」、自身の意見を「伝える」際のポイントについて確認する。（講習会開始前のオリエンテーション含む）	1	
	態度行動	地域におけるパラスポーツの課題 （※演習含む）	地域におけるパラスポーツの課題をグループ単位で話し合い発表する。また、その課題について協議し問題解決策を見出す。 <自身の地域のスポーツ推進計画を事前に調べ、発表する>	6
		スポーツ界の最新情報	最新のスポーツ界を取り巻く諸問題について学ぶ。	2
知識技能	共通	事故などのトラブルの対処法	事故が起きた際の初動、言動、対応の仕方について、問題拡大を未然に防ぐ配慮と方法（法的責任や保険）について学ぶ。パラスポーツ活動現場での要望・相談など事例について学ぶ。	3
		スポーツ心理学Ⅱ	競技者の心理と指導者としての効果的なアプローチについて学ぶとともに、事業をすすめる上で大切な「リーダーシップ」や「チームビルディング」について学ぶ。	4
		指導案の作成と検証Ⅰ・Ⅱ	障がいの種類や程度または実施環境などを考慮し、安全かつ対象者の目的に合わせた指導案の作成手順・ポイントについて学ぶ。また、実践（発表）を通して、指導案や実施内容に含まれる問題点・改善点を抽出するなど、内容の検証を行う。	6
	専門	スポーツと栄養	スポーツに必要な身体づくりのためのエネルギーと栄養摂取の方法について学ぶ。年齢、性別に応じた身体づくりのための栄養摂取を理解する。	2
		全国障害者スポーツ大会 選手団のマネジメント	全国障害者スポーツ大会の選手団結成から大会終了後までの一連の動きについて学ぶ。選手団の役員として大会をマネジメントするうえでの総合的な知識を学ぶ。	1.5
		わが国のスポーツ施策と パラスポーツ	わが国のスポーツ施策について、これまでのあゆみと現状について学ぶとともに、パラスポーツに関わる施策について理解する。	2
		スポーツ事業の企画運営の 実際 （※演習含む）	地域におけるパラスポーツ事業の企画から運営までの実施計画をグループ単位で立案・発表（プレゼンテーション）し、効果的な企画・運営の仕方を学ぶ。	6
		高齢者とスポーツ	高齢障がい者の特性を理解するとともに、実際に行われているスポーツを事例に出しながら、その意義や指導上の留意点を学ぶ。	2
		女性とスポーツ	女性の身体的な発育・発達と競技パフォーマンスの関連性やライフスタイルの変化と運動習慣の関連性について学ぶ。	2
		スポーツ傷害・障害の 予防と管理	障がい者がスポーツをする際に起こりやすい怪我や二次的障害の実際とその予防法を学ぶ。	2
		スポーツ実技 （※実技）	地域で行われているスポーツの体験を通してルールや用具に関する工夫・配慮について学び、実際に種目を作成する。	4
		パラスポーツの 歴史と現状	国内外のパラスポーツの歴史的経過を学び、日本パラスポーツ協会のビジョンを通して現在の状況や展望について学ぶ。	2
	時間数			45.5 時間